

番号	項目(主要)	主要内容	備考
1	<p>日光の歴史</p> <p>外国人の来訪 (明治初期)</p> <p>⑩ ハリーパークス公使 ※オールコックの後任として 二代目英国駐日公使 ※日本での在職期間18年 ⑩ アーネストサトウ ※明治5年日光来見 ※明治8年「ジャパンウィーク メール」で日光紹介</p>	<p>勝道上人の開山 ◎四本龍寺(766年) ◎家康の遺言</p> <p>※(明治3年)……・イギリス公使ハリーパークス公使ご夫妻 日光来訪(日光に多大な影響を与えた人物) (宿泊…輪王寺本坊)</p> <p>※(明治4年)……・金谷善一郎、ヘボン博士との 出会い(自宅→外国人に開放)</p> <p>※(明治6年)……・「金谷カッタージイン」開業</p> <p>※(明治11年)……・イザベラバード 「金谷カッタージイン」 ⑩・人力車3台日光来見 →10日間宿泊 ・通訳・伊藤氏(18歳) ・日光に3回来訪 ※横浜→東京→春日部→ →第2回目(明治28年) 栃木→今市→日光 第3回目(明治29年) ※例幣使街道より日光に入る</p>	<p>・イザベラバード →日光10日間宿泊の内 1日は湯元「吉見屋」宿泊</p> <p>・明治13年 →イザベラバード 「日本奥地紀行」出版</p>
2	<p>保晃会の設立 (明治12年1879)</p>	<p>※会長……………松平容保氏</p> <p>※明治12年…… { グラント アメリカ大統領日光来訪 (伊藤博文同行) 7/20~27 ⑩ 松平容保氏⇒明治13年 日光東照宮官司就任</p>	<p>・伊藤博文 →明治政府の重鎮</p> <p>・保晃会発起人 →安生順四郎他 ↓(矢板武、印南丈作) 殿堂(社寺)の保護を提唱</p>
3	<p>鉄道の設立 ⑩ 明治初期 →国有鉄道 ①明治5年(新橋⇄横浜) ②明治7年(大阪⇄神戸)</p>	<p>※明治14年…… { 私設日本鉄道会社設立 ⑩ 明治39年から昭和62年 (岩倉具視) 国有鉄道 発起人…渋沢栄一 昭和62年以降民営化 (JR6社)</p> <p><鉄道開通></p> <p>※ { 明治18年……大宮→宇都宮間(東北線→宇都宮線) 明治23年……宇都宮→日光間(現JR日光線)</p>	<p>・鉄道の開通 ↓ 国際観光地「日光」への 移行</p>
4	<p>外国人専用 ホテルの建設</p>	<p>※明治4年…… 鈴木ホテル (⑩外国人専用ではないが、外国人も受入れた)</p> <p>{ ※明治21年……日光ホテル開業 ※明治25年……新井ホテル開業 ※明治26年……金谷(本館)開業 三角ホテルを買収(小林年保との出会い) ※明治27年……中禅寺レーキサイドホテル開業(坂巻正太郎)</p> <p>{ ⑩(1)明治29年…新井ホテル⇒「日光ホテル」を買収 →名称は「日光ホテル」 ⑩(2)大正15年 日光ホテル焼失</p>	<p>◎明治20年代 ↓(日光地区) ホテル戦争 ⑩ 帝国ホテル →明治23年開業 ※筆頭株主(宮内庁) 理事長(渋沢栄一)</p>
5	<p>外国人の別荘建設</p>	<p>※明治20年……・ウィリアムカーキード別荘 ⑩外国人第一号の別荘</p> <p>※明治26年……・トーマスグラバー別荘建設 (西六番別荘) ⑩大正13年(1924)ハンスハンター購入</p> <p>※明治29年……アーネストサトウ ⑩後の英国大使館別荘 最初のゲストは「イザベラバード」</p>	<p>・カーキードの別荘 ↓ 現 <ホテル湖上苑></p>
6	<p>近代化への道</p>	<p>※明治41年……日光電気軌道(株)創立 ⑩日光町及び古河鋳業共同 →資本金20万円</p> <p>※明治43年…… { 日光駅前 →岩の鼻間(8Km)開業</p> <p>※大正2年…… 馬返まで開業 ⑩ <足尾銅山> ◎明治10年古河市兵衛、銅山買収(渋沢栄一銅山に資産面で援助) ◎第一、第二索道完成(明治23、25年) ◎明治38年4月1日、古河鋳業日光電気精銅所完成 ◎明治41年、日光電気軌道(株)創立(日光町及び古河鋳業) ◎明治23年、日光線開通</p>	<p>金谷ホテル →近代化への道</p> <p>・明治35年電話加入 (日光一番)</p> <p>・明治41年 自家用水力発電 独シーメンス社製、 発電機</p> <p>・大正3年テニスコート</p> <p>・大正5年スケート場</p> <p>・大正5年自動車会社 車(フォード車) その他</p>

大正・昭和・平成(総括)

令和4年4月 小杉記

番号	項目(主要)	主要内容	備考
1	田母沢御用邸 (皇室と日光)	※(時代背景)…… 明治29年、大正天皇が皇太子時代 一夏を日光にて過ごす。(山内御用邸) ※(御用邸候補地)… 小倉山、田母沢の2つに絞られる。 →田母沢に決定(地形、気象) ※明治31年創建…… 大正5~7年竣工(赤坂離宮より移設) ※昭和19年(1944)… 今上天皇(現上皇陛下) 約1年間疎開→湯元(南間ホテル)	㊟ 昭和天皇(3回来晃) 第1回目…昭和32年(1957) 第2回目…昭和37年(1962) 第3回目…昭和41年(1966) 8/15終戦
2	日光電気軌道	※明治41年(1908)創立 〔◎日光町及び古河鉱業資本金20万円で設立 ◎明治43年…… 日光駅→岩の鼻開業(8Km) ◎大正2年…… 岩の鼻→馬返間開業	㊟昭和4年 東武鉄道に売却
3	東京アングリング・エンド カンツリー倶楽部	◎在日外国人と日本人紳士の国際的社交クラブ ◎大島久治とハンスハンターとの出会い ◎「丸沼マスつり大会」の組織→中禅寺湖畔に移す。 ◎大正13年(宮内庁)から借り受ける。理事長ハンスハンター ◎会員数約40~50名 ◎ハンスハンター→大正13年(西六番別荘購入)	◎大島久治 →大正12年 2代目 中禅寺漁業組合総代
4	東武鉄道(日光線)開通	◎昭和4年(1929)開通	◎日光電気軌道及び 日光自動車 ※東武鉄道に売却 当時の価格130万(根津)
5	国際観光ホテルの整備	◎昭和5年(1930)… 鉄道省に国際観光局を設置 ※国際観光政策として4つの政策課題設定 〔①海外宣伝事業展開 ②観光地、観光経路整備 ③宿泊施設整備 (㊟全国に14の「国際観光ホテル」を整備) ④接遇 ※華厳の滝(エレベーター)営業開始	◎昭和15年(1940) 日光観光ホテル開業 →14のホテルの中で 最後に開業したホテル ㊟後に「中禅寺金谷」 ホテルになる。(昭和40年)
6	中禅寺温泉の誕生	◎昭和26年(1951)開通<※湯元→中宮祠間約12Km> ◎民間より東武(奥日光開発)に移行	
7	東京オリンピック	◎昭和39年度(1964)開催 ※日光金谷ホテル…ソ連選手団宿泊(4号館)	㊟選手団(金谷) 投てきの選手
8	国登録有形文化財	◎登録基準…建設50年を経過し国民的財産である。 〔①歴史的景観に寄与 ②造形の規範 ③再現することが容易ではない。 ※旅館・ホテル…全国で120件前後	㊟<日光金谷ホテル> (平成17年) ・本館(1Fを除く)、新館 別館、他竜宮
9	大使館別荘	◎旧イタリア大使館別荘 ※昭和3年(1928) (設計者)…アントニン・レーモンド ※平成9年(1997)まで歴代の大使館使用 ※平成12年(2000)…記念公園として 一般公開(南五番) 注:本邸、副邸からなる。	※アントニン・レーモンド フランク・ロイド・ライトと 共に帝国ホテルの設計 監理スタッフとして来日。 日本の伝統工芸(木造 住宅)に感銘を受け、 大正10年ライトと別れ 東京に事務所を構える。
		◎旧イギリス大使館別荘 ※英国公使…(アーネスト・サトウ) ↓ 明治29年別荘建設 →後の英国大使館 ㊟サトウの最初に招いたゲスト →イザベラ・バード ※平成28年(2016)一般公開	・㊟イザベラバード →サトウの別荘(宿泊) 8/1~8/1、9/4~9/17 ・アーネスト・サトウ →幕末期2度 「グラバー邸」を訪れる。 (ジョサイヤ・コンドル)の アドバイスあり。
10	ラムサール条約	◎平成17年(2005)「奥日光の湿原」11月 ※湯の湖、湯川、戦場ヶ原、小田代ヶ原 ※日光国立公園内周囲3Km指定	

< 渋沢栄一と日光 >

令和3年10月

※ジャンル別関連事項

小杉記

鉄 道	ホテル	日光東照宮	保晃会	その他
<p>◎ 1872 (明治5年)</p> <p>※ 新橋 ↔ 横浜 (現汐留) (現桜木町)</p> <p>※明治政府初めての鉄道開業</p> <p>※その後、新規路線建設凍結する。 (経済的理由)</p> <p>◎ 1881 (明治14年)</p> <p>私設「日本鉄道会社」設立 (岩倉具視他)</p> <p>※発起人… 渋沢栄一</p> <p>◎ 1885 (明治18年) 「日本鉄道会社」 大宮 ↔ 宇都宮 間開通</p> <p>㊦ 日本鉄道は最初 上野 ↔ 熊谷 間開業 (翌年 熊谷 ↔ 高崎間 延伸)</p> <p>◎ 1890 (明治23年) 日本鉄道 (発起人… 渋沢栄一 株主 保晃会)</p> <p>◎ ※当初 宇都宮 ↔ 日光間 軽便鉄道として計画あり</p> <p>◎ 1890 (明治23年) 日本鉄道会社 ※ 宇都宮 ↔ 日光 間を 東北線の支線として建設</p> <p>◎ 1906 (明治39年) 鉄道国有法制定 (※鉄道の国有化)</p> <p>◎ 1987 (昭和62年) 国鉄の民営化 (JR六社)</p>	<p>◎ 1888 (明治21)</p> <p>「日光ホテル」開業</p> <p>※明治政府の国家的事業</p> <p>※資金… 渋沢栄一</p> <p>◎ 1890 (明治23)</p> <p>「帝国ホテル」開業</p> <p>※筆頭株主…宮内省</p> <p>※理事長… 渋沢栄一</p> <p>◎ 1892 (明治25)</p> <p>「新井ホテル」開業</p> <p>◎ 1893 (明治26)</p> <p>「金谷ホテル」本館開業</p> <p>◎ 1894 (明治27)</p> <p>「中禅寺レーキサイドホテル」 オープン</p> <p>※代表…坂巻正太郎</p> <p>◎ 1899 (明治32)</p> <p>※金谷正造 (17歳) アメリカ・ ヨーロッパ旅行出発</p> <p>◎ 1907 (明治40)</p> <p>※金谷正造 8年ぶり海外より帰国</p> <p>※箱根宮の下「富士屋ホテル」長女 山口孝子氏と結婚 →仲人 渋沢栄一</p>	<p>◎ 1915 (大正4) 6月3日</p> <p>「日光東照宮300年奉祭会」開催</p> <p>※会長… 渋沢栄一</p> <p>※奉祭会…○1913 (大正2) 発足</p> <p>○西山直平、日光町長他 各界の協力を得て発足</p> <p>○初代会長…林薫伯爵</p> <p>○顧問… 渋沢栄一</p> <p>※ 渋沢栄一 …奉祭会 (300年) 開催の前日 (6/2) <u>金谷ホテル宿泊</u></p> <p>※「東照宮」石碑寄進 → (大正13年5月建立)</p>	<p>◎ 保晃会…○安生順四郎</p> <p>○矢板武</p> <p>○印南文作</p> <p>地元の名士により日光の社寺 文化財を保護の為設立される。</p> <p>◎ 1879 (明治12)</p> <p>保晃会誕生</p> <p>※会長…松平容保</p> <p>◎ 第一銀行 第三十三銀行</p> <p>※ 渋沢栄一 が設立</p> <p>※保晃会を経済的に支援する。</p> <p>※ 渋沢栄一 は保晃会の 会員としても活動</p> <p>※保晃会の活動 活発化の要因</p> <p>イ)1876 (明治9年) 明治天皇 日光に宿泊 (東北巡行の途中)</p> <p>ロ)グラント 第18代アメリカ大統領 日光へ招待 (伊藤博文同行)</p> <p>◎ 1916 (大正5年)</p> <p>保晃会解散</p>	<p>◎ 1908 (明治41)</p> <p>「日本電気軌道株」創立</p> <p>※日光町と古河鉱業共同で設立</p> <p>◎ 1929 (昭和4)</p> <p>「日本電気軌道株」東武鉄道に売却</p> <p>◎ 1893 (明治26)</p> <p>※貴賓会設立</p> <p>※外客誘致機関</p> <p>※帝国ホテル内に事務所設置 →幹事長 渋沢栄一</p> <p><古河市兵衛・渋沢栄一と足尾銅山></p> <p>◎ 「古河市兵衛」と「渋沢栄一」の接点</p> <p>※渋沢栄一…33歳で大蔵省を明治6年退官</p> <p>※実業家として…「第一国立銀行」</p> <p>・明治6年創立 (総監役)</p> <p>・明治8年…頭取</p> <p>※銀行の主たる出資者</p> <p>…小野組 (京都) と三井組 各100万出資</p> <p>※小野組…倒産となる</p> <p>※銀行…小野組に対し138万貸付金あり (内70万…古河市兵衛名義)</p> <p>※市兵衛が実行したこと…小野組の 資産、資材を提供</p> <p>※古河市兵衛…鉱山業の道を進む</p> <p>※明治10年 (1877) 足尾銅山買収</p> <p>※渋沢栄一…銅山に資金面で援助</p> <p>後に栄一は市兵衛と共に銅山の共同経営者</p>